

「地方中核病院における食道癌術前治療の現状」 について

加古川中央市民病院外科では、現在、術前に化学療法がおこなわれた食道癌の患者さんを対象に表題の研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

近年、食道がんの治療において、手術前に抗がん剤治療を行う「術前化学療法」が注目されています。この研究は、当院における食道癌の術前化学療法の現状を把握し、患者さんにとってより安全で効果的な治療法を検討することを目的としています。

【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院病院長承認日～ 2025年 10月 31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2022年5月以降に当院で食道癌の術前化学療法を受けた患者さん35名の診療記録を調査しました。

- 性別、年齢
- がんの進行度
- 術前化学療法の内容（使用した薬剤の種類、投与量、回数など）
- 手術の内容
- 術後の経過（合併症の有無、がんの縮小効果など）
- 病理検査の結果
- がんの再発の有無

【個人情報保護の方法】

この研究では、患者さんのプライバシー保護に最大限配慮し、取得したデータは、個人が特定できない形に匿名化した上で、研究対象患者識別番号リストを作成し、鍵のかかる診療部内のロッカーに保管します。

研究対象患者識別番号リストとは、匿名化されたデータと患者さんの個人情報を結びつけるためのリストです。このリストは、研究責任者のみがアクセスできる場所に保管され、個人情報外部機関へ提供することはありません。

研究結果は研究対象患者個人が識別されないようにして学会発表を行います。

患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 外科 責任者氏名：西村 透

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報をういており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録から観察項目のデータのみを利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

情報は研究責任者が診療部内の鍵のかかるロッカーで保管し、将来的な研究への活用などの可能性を考慮し、3年間保管した後、電子データの場合は完全に削除し、紙媒体の場合はシュレッダーにかけるなど、復元不可能な方法で廃棄致します。

【研究成果の公表について】

研究成果は患者さんに対して公表する予定はなく、学会発表等で公表する予定です。その際も個人を特定される情報は公表いたしません。研究結果についてお知りになりたい場合は、下記の責任者までご連絡頂けますとご対応致します。

【研究へのデータ使用の同意辞退について】

この研究にデータを提供することを希望されない場合は、ご自身の意思でいつでも参加を辞退することができますので、下記【問い合わせ窓口】の連絡先までご連絡ください。研究参加を辞退されても、患者さんへの不利益は一切ありませんのでご安心ください。研究参加辞退の申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、研究参加を辞退された時点ですでに研究成果が論文や学会発表で公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 外科
研究責任者名 西村 透
連絡先：079-451-5500